

第10回 放出源の有効高さ評価分科会
議事録

1. 日 時 2022年10月26日(水) 14:00~14:30
2. 場 所 Web-EX
3. 出席者(敬称略, あいうえお順) 定員16名中, 11名出席
委員: 荒木(北陸), 市川(龍谷大学), 井上(気象協会), 近藤(気象協会), 佐田(電中研),
田中(東電), 長江(関電), 馬淵(CTC), 道岡(近畿大学), 山澤(名古屋大学),
渡辺(原電, 記)
常時参加者: 佐々木(三菱重工), 板東(東電)
4. 議 題
(2) “発電用原子炉施設の安全解析における放出源の有効高さを求めるための数値モデル計算実施
基準(改定案)”に関する標準委員会本報告決議投票結果及び意見への対応について
(2) 諸報告
5. 配布資料
資料1-1: 標準委員会本報告について(議事録抜粋)
資料1-2: 標準委員会書面投票結果・対応(案)
資料1-3: 標準委員会本報告決議投票におけるご意見対応一覧
資料1-4: 数値モデル実施基準(案) 修正前後比較表
資料1-5: 数値モデル計算実施基準 完本(案)
資料1-6: 設計基準事故における用語見直し(参考)
資料2-1: 今後のスケジュールについて
資料2-2: 転載許諾関係書類(参考)
資料2-3: 五ヵ年計画の見直しについて

6. 議 事

(1) 発電用原子炉施設の安全解析における放出源の有効高さを求めるための数値モデル計算実施基準（改定案）”に関する標準委員会本報告決議投票結果及び意見への対応について

渡辺幹事より以下の説明が行われた。

- ・9月14日に行われた第89回標準委員会にて改定案が付議され、内容について了承され30日間の書面投票に進むことが決議された。
- ・標準委員会において越塚委員より本標準の位置づけについてご意見があった。現状の課題等を含め、標準内に明記することがコメントされた。
- ・30日間の書面投票（9月22日～10月21日）が行われた結果、反対・保留なしで可決された。決議投票に際し、3委員より5つのコメントが寄せられたため、標準委員会でのコメント含め対応案を提案する。

分科会委員にて意見対応案について議論の結果、特に質問、コメント等はなく、提案通り次回専門部会に付議することが了承された。

(2) 諸報告について

①今後のスケジュールについて

渡辺幹事より標準改正に関する今後のスケジュールについて説明が行われた。

- ・現在のところスケジュール案の通り進んでおり、この後11月10日の専門部会、12月7日の標準委員会にて先のご意見対応案について議論いただく予定である。
- ・12月7日の標準委員会です承ののち公衆審査に進むため、転載許諾について学会事務局に依頼を行った。学会事務局からは12月の公衆審査に間に合うよう手続きを進めていただけるとの連絡を受けている。
- ・公衆審査での意見対応のため、1月頃に作業会及び分科会を予定している。

②五ヵ年計画の見直しについて

渡辺幹事より学会からの五ヵ年計画見直し依頼について説明が行われた。1月中旬に提出のため、11月から12月にかけて作業会及び分科会を実施する予定であることを周知した。

以上